

西中学校だより

木立見 こだちみ

(第 14 号)

平成28年 12月 5日 発行



発行者 出口 伸雄

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～

師走に入り、今年もあと1ヶ月となりました。足利地区のインフルエンザの状況は、増加の傾向にあり、本校でも感染が広がりつつあります。急激な感染増加を防ぐために、体調管理を十分に行い、予防や感染させないように気をつけることをお願いします。



12月4日から10日まで「人権週間」

「みんなで築こう人権の世紀～考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～」

子どもの人権について…私たち大人は、子どもの意見に耳を傾け、それが正当な権利の主張なのか、わがままなのかを見極め、子どもにとって最善の援助となるよう考え、行動することが大切です。つまり、子ども一人一人の人格を尊重し、個性の伸張を図りながら、自らの力で成長・自立できるように援助していくことが求められます。

＜「子どものために」と思いながら、このような言動はありませんか？＞

- ・子どもだからという理由で、「できない」と決めつけていませんか。
- ・厳しくすることのみが、子どものためと思っていませんか。
- ・子どものことは、十分理解しているという過信はありませんか。
- ・子どもは、大人の指示に黙って従うべきと思っていませんか。
- ・障がい名で「レッテル」を貼り、成長の可能性を狭めていませんか。



「子どものために」と思ったことが、実は、「思い込み」や「先入観」などによるもので、逆に、子どもを傷つけ、子どもの人権侵害につながる場合があります。子どもの立場に立って、自分の言動を振り返る必要があります。

教育講演会「**ありがとうのパワーと法則**」 表現者 たけ



11月18日(金)、山前地区自治会連合会、山前ふれあいまつり実行委員会、西中PTAからのご支援を賜り、「表現者 たけ(河村武明様)」を講師に迎え、教育講演会を行いました。河村さんは、若いときに脳梗塞で倒れ、言語障害、聴覚障害、右手麻痺、失語症という重い後遺症が残ってしまいました。しかし、障害のある身体に対し、「ありがとう」という気持ちで受け入れ、左手で絵と詩を描き、代読による講演活動を行っています。栃木県での講演会は3回目で、学校は初めてだそうです。生徒は、「与えられたことに感謝する」だけでなく、「与えられないことにも感謝する」ことの大切さなど、たくさんの「ありがとうのパワー」を感じたものと思います。私も、きれいな言葉～プラスのエネルギー「ありがとう、幸せ、うれしい、楽しい、大好き」などが、この西中のいろんなところで、いつも聞けるような学校にしたいと思いました。そして、西中生が、これからの中学校生活、卒業後の人生で、たくさんの「山や壁」にぶつかった時、「山や壁」に感謝し、乗り越えてほしいと思いました。

インフルエンザ～「**感染しない・感染させない**」工夫を！

朝、検温し、体温がおおよそ37.5度以上の場合や節々が痛むときは、学校に登校させず病院を受診するようにお願いします。また、予防接種、手洗い・うがい、十分な睡眠、栄養のある食事、マスクや咳エチケット等、感染しない、感染させない工夫をお願いします。



心に響く道徳の時間の指導～公開研究授業～

11月17日（木）午後、心に響く道徳の授業を目指し、公開研究授業を実施しました。今年度は、各学年で授業者を選び、道徳の価値項目に照らし、学級の実態等を考え資料を選び、効果的な指導法を協議し公開授業により授業研究を行いました。公開授業後には、各学年ごとに授業の反省会を行い、最後の全体会では、足利市教育委員会事務局学校教育課「丸山能保指導主事」から、指導助言をいただきました。道徳の時間の指導をとおり、生徒が道徳的価値に照らし、自分を見つめ、自己の成長と課題を見出し、これからの自分の生き方を主体的に考えられるようになればと思います。以下、授業者・資料等です。

◇1年4組…岡村慎太郎教諭「命を助けたい [希望・勇気・強い意志]」

◇2年2組…長竹恵海教諭「小さい勇気こそ [希望・勇気・強い意志]」

◇3年4組…山田勝一教諭「缶コーヒー [公德心・社会連帯の自覚]」



朝食について考えよう ～学校保健集会～

11月24日（木）、学校保健集会を行いました。今回のテーマは、「朝食について考えよう」です。保健委員会が実態調査結果から課題を見つけ、朝食の役割や栄養のバランスの大切さなどの発表を行いました。学校医の賀川治美先生からは、朝食を摂る意義（①成長のため、②脳エネルギーのブドウ糖を摂るため、③体温を高め血流をよくするため、④脳への刺激と排便をよくするためなど）、朝食によりやる気と集中力が高められること、そして、「早寝・早起き・朝ご飯」が大切であることのお話がありました。ご家庭におかれましては、規則正しい生活をして朝食をしっかりと摂り、心身ともに元気に生活ができるようにご協力をお願いします。

薬物乱用防止啓発劇

11月21日（月）、劇団三十六計（代表…戸田古道氏）をお招きし、「すばらしい明日のために…危険ドラッグ『持たない』『使わない』『近寄らない]』を上演していただきました。中学生の時期は、好奇心からたばこやお酒などに興味を持つ人も多くなりますが、二十歳になるまでは絶対にたばこを吸ったりお酒を飲んだりしてはいけないことはわかっていることと思います。しかし、覚醒剤や大麻などの危険ドラッグは、大人になっても絶対にやってはいけないものです。それは、一度でもやったら、人間が壊れてしまい、その後の人生を狂わせてしまう恐ろしいものだからです。今回の劇を通し、危険ドラッグの恐ろしさを生徒たちにしっかり学んでもらいたいと思います。



第2回後援会資源回収

11月20日（日）、第2回後援会資源回収を実施しました。今回は、卓球部、剣道部、バレーボール部、陸上部、水泳部の生徒達が参加しました。知事選挙の関係で、山前公民館と三重小学校は回収会場にすることができませんでしたが、保護者・地域の皆様方のご協力により、たくさんの段ボールや新聞紙等が集まりました。ありがとうございました。

文化財一斉公開～大岩毘沙門天(大岩町)を見学～

11月19日（土）から始まった文化財一斉公開では、本校生徒たちもそれぞれの文化財において、ボランティアで活躍してくれました。私は、大岩毘沙門天を見学してきました。奈良の信貴山、京都の鞍馬山とともに「日本三大毘沙門天」の一つに数えられています。古来より数多くの絵馬や奉納額（市指定・江戸時代～明治時代）が奉納されており、葛飾北斎の弟子「柳々居辰斎（りゅうりゅうきよしんさい）」が描いた絵馬が奉納されています。



お詫び…学校だよりの先月号（第13号）で、英語スピーチコンテスト出場者の名前に誤りがありました。申し訳ありませんでした。